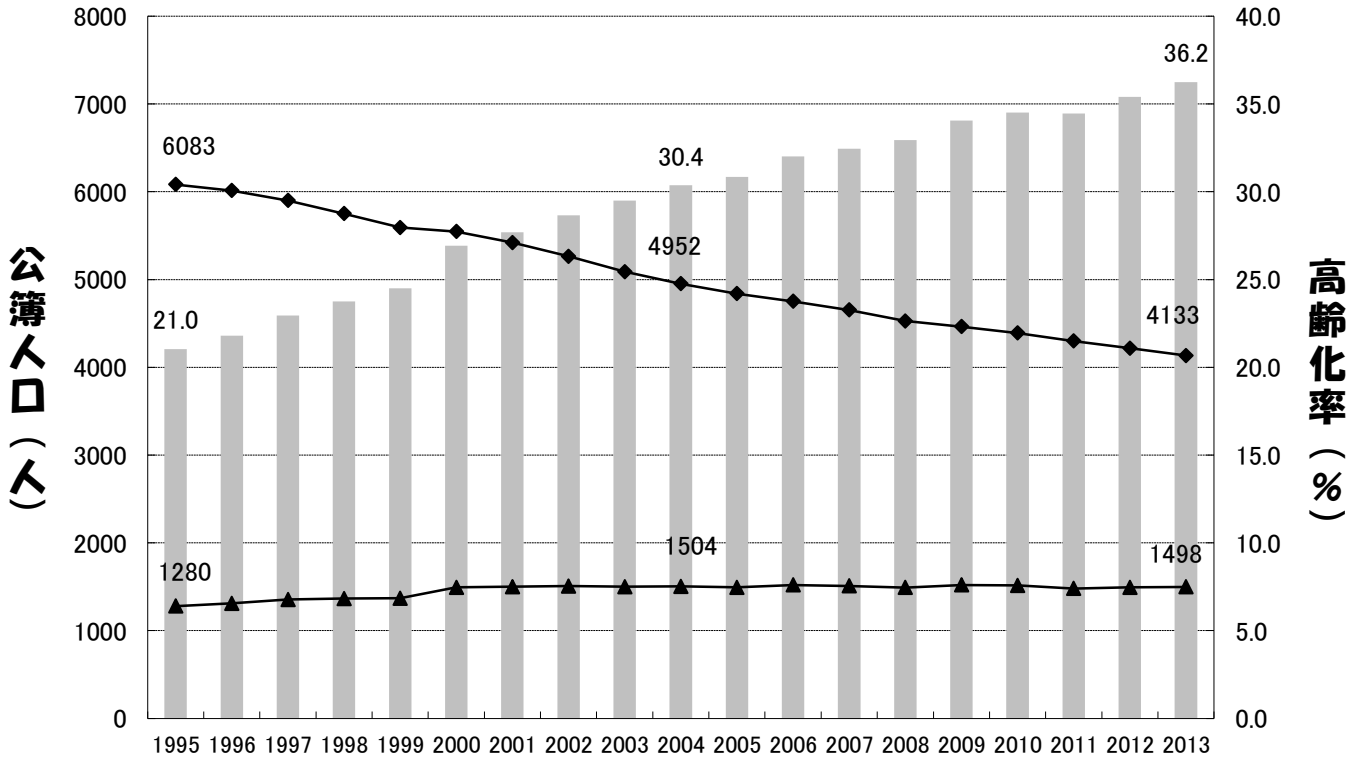
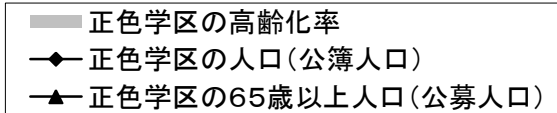


# 1. 正色学区人口の変遷と高齢化率



注：公簿人口とは・・・？

住民基本台帳に登録されている方のデータ。  
平成 24 年 7 月 1 日以前は、  
住民基本台帳人口+外国人登録人口となる。



正色学区は高齢化率がとても高い地域で、2013 年度現在では統計上、名古屋市内の小校区で第 2 位、中川区 (24 学区中) では第 1 位となっています。

- ① 1995 年は高齢化率 21%、人口は 6 千人を超えていました。
- ② 2004 年には高齢化率が 30% を超え、人口は 5 千人を初めて下回りました。
- ③ 2013 年は高齢化率が 36.2% (1498 人)、人口は 4133 人です。

2012 年の高齢化率をいろいろと比較してみると、

日本は人口 12752 万人に対して、65 歳以上が 3079 万人 (24.1%)

愛知は人口 742 万 7 千人に対して、65 歳以上が 159 万 1 千人 (21.4%)

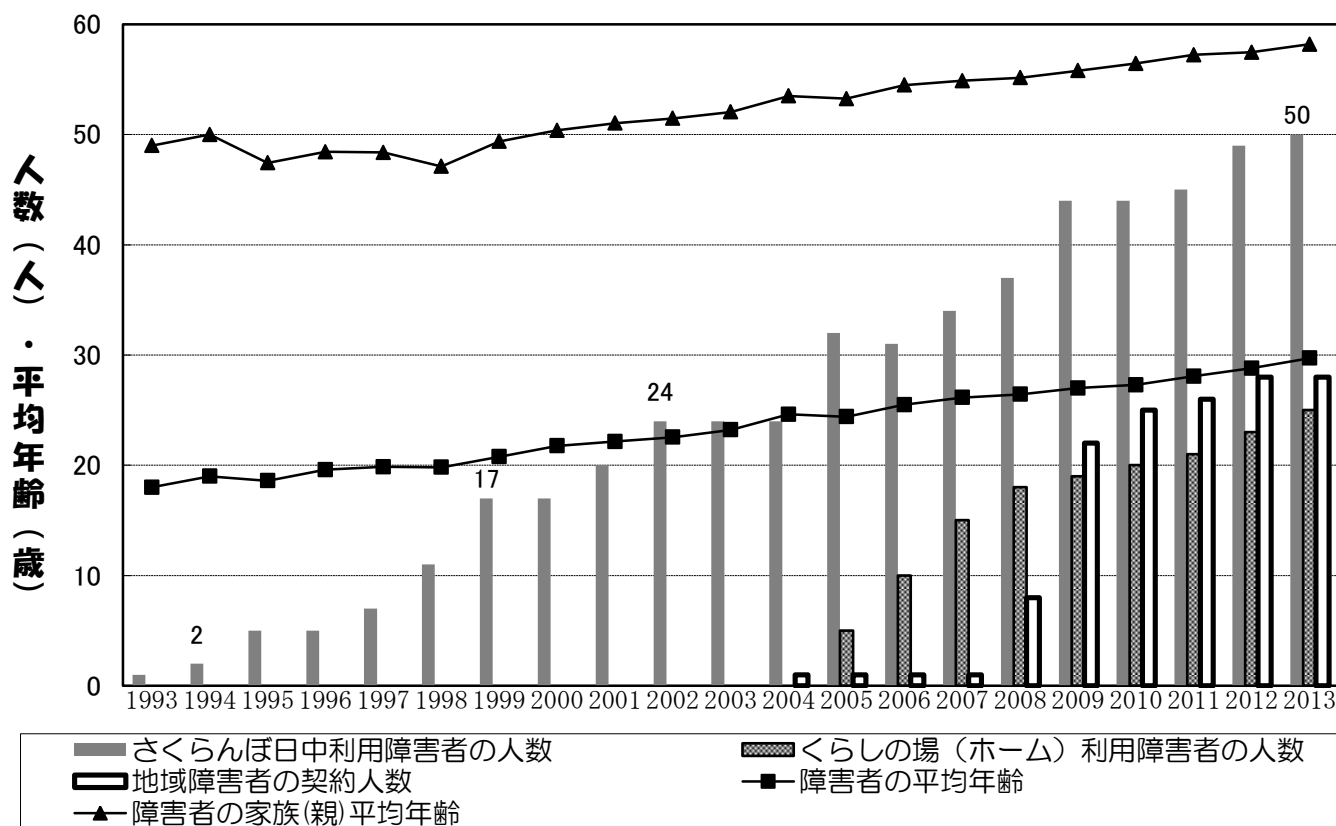
名古屋市は人口 226 万 6 千人に対して、65 歳以上が 47 万 6 千人 (21.4%)

中川区は人口 22 万 1 千人に対して、65 歳以上が 4 万 6 千人 (21.4%) で 16 区中 11 番目に高い高齢化率でした。

以上から正色学区の高齢化率 (36.2%) がとても高いことがよく分かります。

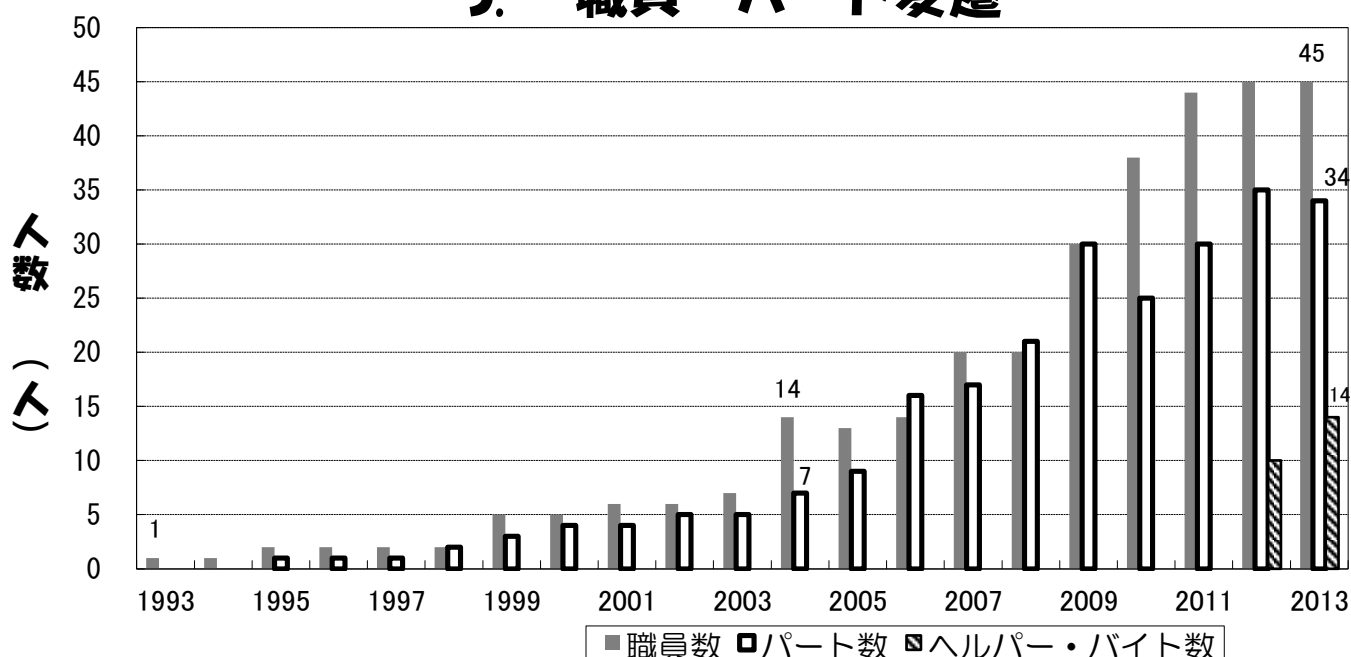
参考までに 2010 年の世界高齢化率は、日本が 22% で世界 1 位、2 位 3 位がイタリア・ドイツの 20.2% と続きます。医療の進歩に伴い先進国の平均寿命が延びてきていますが、日本は同時に少子化も影響して高齢化率が高くなっています。

## 2. さくらんぼとつながりのある障害者の状況の変遷



- ① 日中活動の場について。1994年2名でスタートし、1999年には第2 さくらんぼ作業所開所に伴い17名となりました。2002年は一もにい開所もあって24名となり2013年度は50名に。この約10年で約2倍になりました。
- ② くらしの場（ホーム）について。2004年11月18日の法人認可に伴い、グループホームを運営できるようになりました。2005年度くらしの場で生活する障害者は5名、2013年度には25名の5倍になりました。
- ③ くらしの場（自宅・地域）について、2003年度に居宅介護事業所さくらんぼCCが開所し、さくらんぼ以外の日中活動を利用する障害者や地域の障害者も利用するようになりました。2004年度は1名でしたが、2009年度に22名と大きく増え、2013年度は28名となっています。
- ④ グラフには反映されていませんが、2012年度からの特徴としては制度で位置づけられたサービス利用計画を作成するために相談支援さくらんぼが開始され、2013年12月時点で88人（うち内部の障害者52名、地域の障害者36名）、の利用契約数となっています。

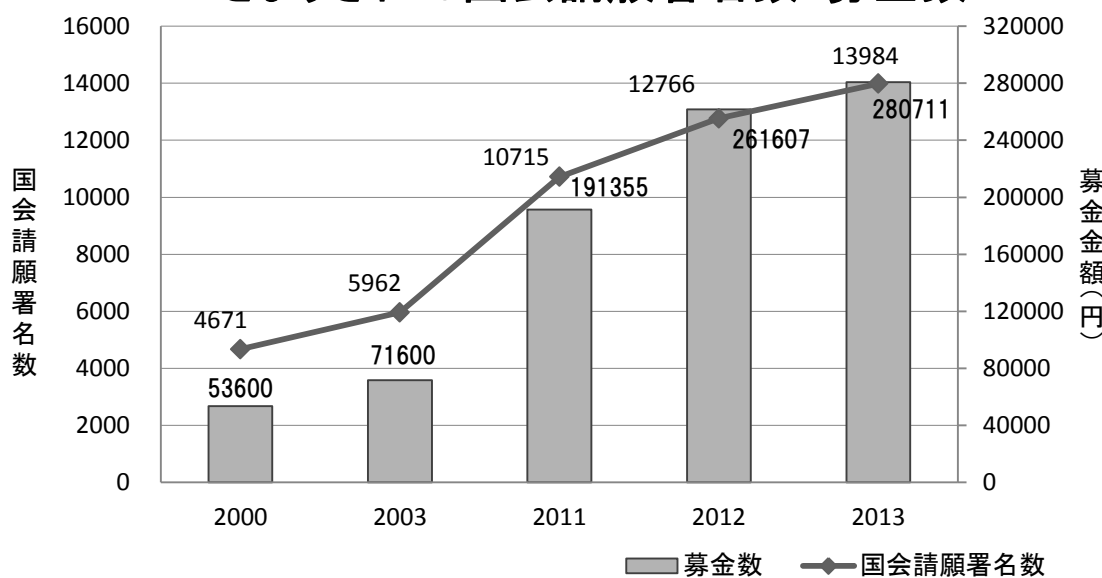
### 3. 職員・パート変遷



現在、100名ほどの職員・パートの方が障害者の地域生活を支えています。さくらんぼの特徴は、正色・五反田学区に住む職員・パートが多いことと様々な役割を兼務していることです。

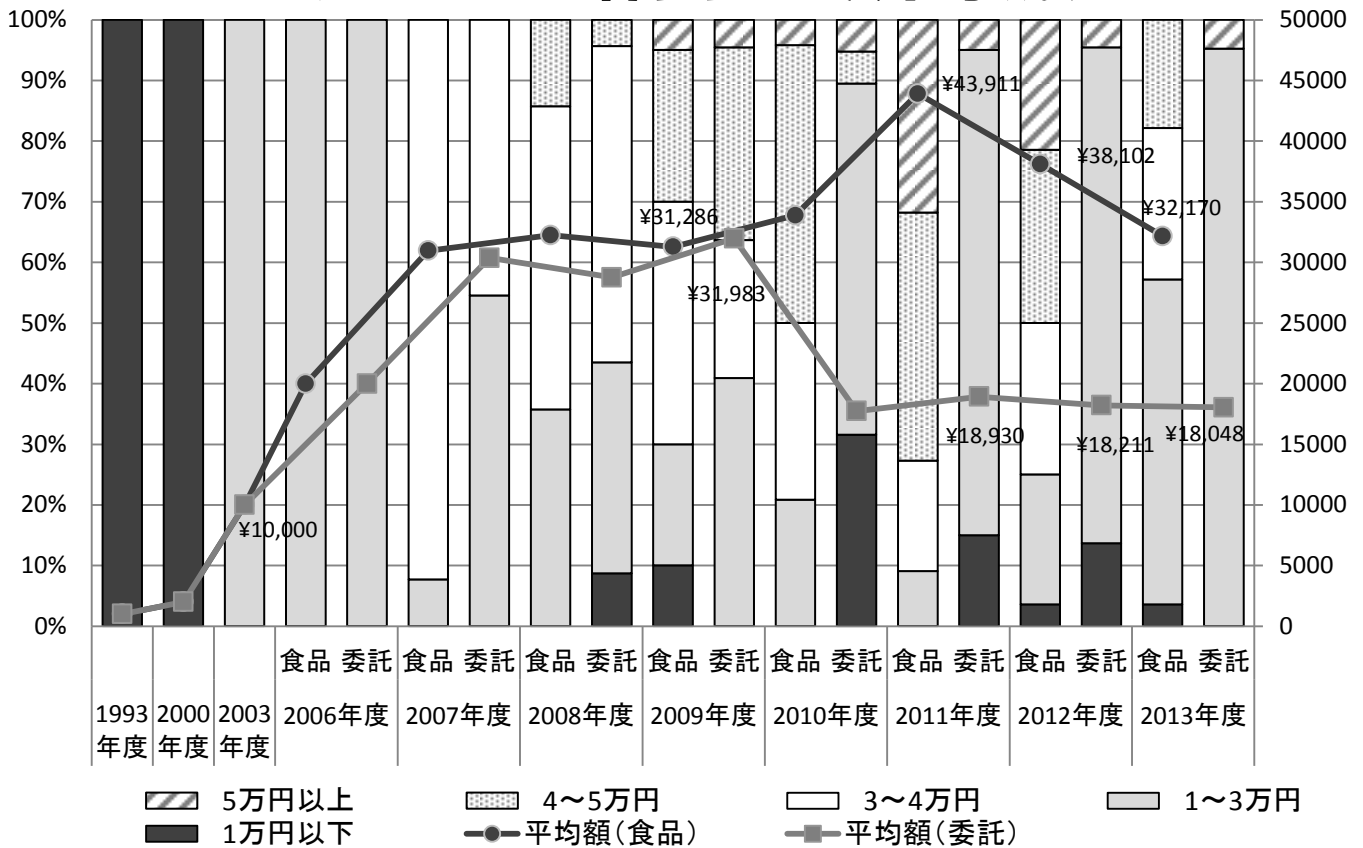
1993年正職員1名からスタートし、2004年には正職員14名・パート7名の合計21名、2013年は正職員45名・パート34名・ヘルパー等14名の93名となりました。2013年度中に100名を超える見込みです。

### 4. きょうされん国会請願署名数・募金数



2014年で37回目(37年目)となるきょうされん国会請願署名と募金額の変遷、2000年・2003年・2011年・2012年・2013年をきりとってみました。正色学区全戸署名活動などを通じて少しずつ署名数が伸びていますが、募金額は減少傾向にあります。皆様のご協力をお願いします！

## 5. さくらんぼの障害者の工賃平均額表



1994年以降小規模作業所として1,000円の給与からスタートし、2000年度に2,000円、その後2002年度までは月1万円に満たない時期が続きました。

2003年度にようやく1万円を超え、2006年度に2万円、2007年度に3万円となります。2007年度までは在籍年数を基本としての一律支給を原則としていましたが、2008年度から在籍年数に加えて時給制としました。

2009年度から販売管理システムを導入し、お弁当の顧客管理・売上・入金・債権管理を一括で行える仕組みができました。

2010年度からは食品部門と委託販売の工賃規程を分けて作成しました。

食品部門については2005年8月に現在の小規模通所授産さくらんぼ作業所が竣工し、厨房設備を整備して本格的にお弁当事業が開始されました。2010年5月におそうざいのさくらんぼが開所し、食品部門の可能性がさらに広がりました。2011年度工賃規程改訂に伴い、食品では平均工賃5万円を超える障害者が3割を超えました。しかしその結果2011年度赤字決算となり、2012年度10月分から工賃引下げをせざるをえない状況となりました。

重度の障害者たちが中心に働く委託販売（旧称第二作業所）については、在籍年数を基本としていた2009年度までは工賃規程が食品と同じだったためほぼ同額3万円前後の平均工賃額でしたが、2010年度から食品・委託販売それぞれの工賃規程となり、17,000円前後の平均工賃額となりました。